

# みなみさんりく 議会だより



No. 47

平成 29 年 11 月 1 日発行

特集

南三陸創生への  
第1歩は？ P2



予算はどう使われたのか —— 〈決算審査〉 P 4  
生涯学習センター・松原公園整備へ —— 〈補正予算〉 P 6  
タブレット端末導入について調査 —— 〈議会のうごき〉 P 7  
未請求問題の全体像見える —— 〈特別委員会〉 P 8  
追及 町民税等に誤り —— 〈全員協議会〉 P 9  
ここが聞きたい —— 〈一般質問〉 P10  
9月定例議会 —— 〈議案一覧〉 P18  
請願・陳情・要望書 —— 〈議会へのお願い〉 P19  
まちづくりへの提言 —— 〈委員会報告〉 P20

《表紙》250年以上の歴史を持つ入谷打ち囃子。伝統の舞と音楽が世代を越えた担い手たちによって披露された。



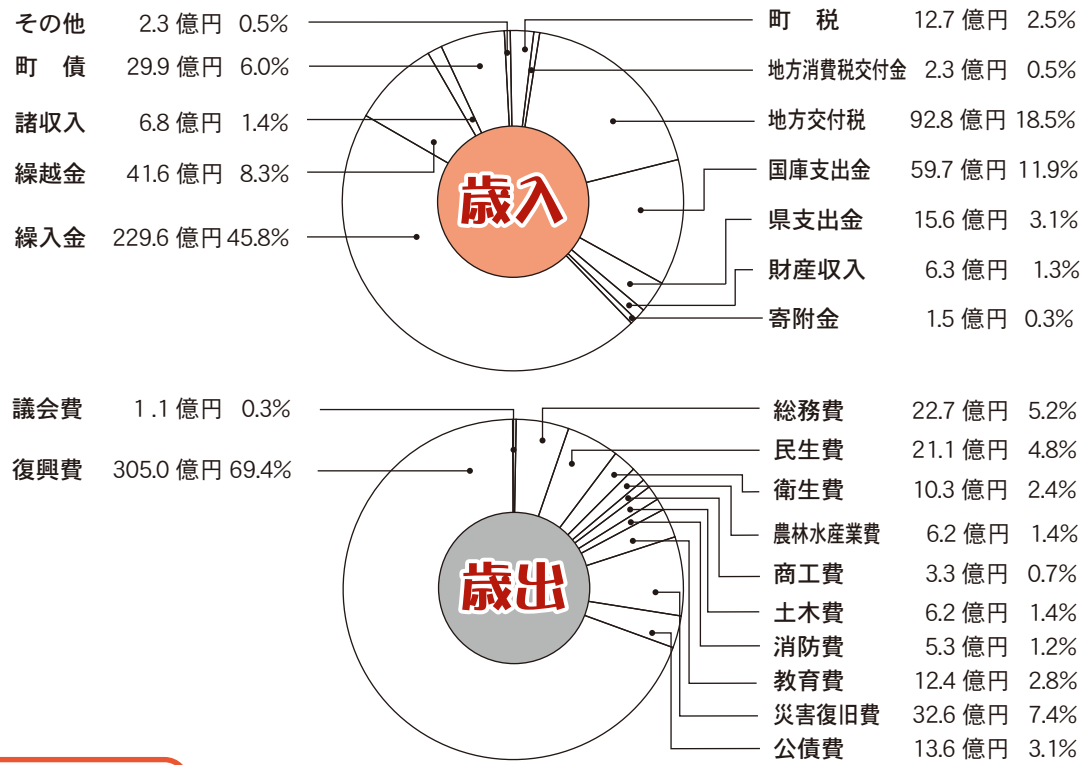
# 特集

9月定例会

## 平成28年度決算認定 南三陸創生への第一歩は？

**一般会計** 歳入 501億2,216万円 歳出 439億8,471万円

形式収支額（歳入額－歳出額）…61.4億円。翌年度へ39.4億円を繰越。  
実質収支額（型式収支額－繰越額）…21.9億円の黒字決算。財政調整基金へ11億円を積立。



### 特別会計

水道事業…災害復旧と経営努力で純利益確保  
病院事業…病床稼働率、外来患者数上昇も損失発生

事業	歳入	歳出	収支
国民健康保険	26億 62万円	23億9,189万円	2億 873万円
後期高齢者医療	1億3,455万円	1億3,202万円	253万円
介護保険	16億5,958万円	15億3,069万円	1億2,889万円
市場事業	3,417万円	3,012万円	405万円
漁業集落排水事業	3,392万円	2,573万円	819万円
公共下水道事業	3億4,112万円	3億2,314万円	1,798万円

事業	収益	費用	事業損益
水道事業	5億5,150万円	5億 697万円	4,453万円
病院事業	17億4,451万円	20億1,908万円	△ 2億7,457万円
訪問看護ステーション事業	4,579万円	4,299万円	280万円

# 復興・創生期間始まる

～まちづくりの指針は示せたか～

## 28年度決算概要

町は、平成28年度の五つの施政方針に関する取り組みと決算の状況について、以下の通り説明しました。

- ①復興を最優先にしたまちづくり  
防災集団移転促進事業827区画、災害公営住宅738戸の整備が完了するとともに、さんさん商店街を皮切りに低地部での事業再建も始まった。
- ②子育て支援の拡充  
平成28年1月に策定した「南三陸町総合戦略」に基づき、保育料の軽減措置や子ども医療費に係る所得制限の撤廃を行なった。また、新たに子育て応援券事業も開始した。
- ③移住・定住人口の増加対策  
移住相談窓口を開設し、12件の相談を受け6件が定住に結びついた。移住者向けの家賃補助については7件、79万円の補助を行った。地域おこし協力隊員2名を受け入れ、町内で活動を行なっている。
- ④交流人口の拡大  
観光客の入込数は対前年比1312人増の80万6153人となった。台湾を中心とした訪日外国人の誘致については、教育旅行等の積極的な誘致により27校、665人の方々が訪れた。
- ⑤南三陸ブランド構築  
地域資源の魅力化・ブランド化を図り、地元産材の普及を図ることを目的に各団体に補助金の交付を行なうなど、足腰の強い地場産業の礎となる取り組みを行った。

## 総括質疑

- 問**（小野寺久幸議員）合併の目的とその達成具合をどう考えているか。
- 答** 震災前までの時点で、取り組みべき事業の約8割が完成または着手済みであり、旧町が抱えていた課題の改善や解消に一定程度以上の成果があったと認識している。
- 問**（及川幸子議員）防災庁舎の今後は。
- 答** 少なくとも県有化した20年間は震災遺構としてしっかり管理し、町民の皆さんと様々な議論を行い最終決定する。
- 問**（今野雄紀議員）ソフト面における子育て環境と移住・定住対策への取り組みは。
- 答** 現時点で町の財政がひっ迫しており引き締めるべきか、余力があるうちに積極的な財政運営をするべきか、どう考えているか。
- 問**（高橋兼次議員）復興事業のハード面からソフト面への転換は。
- 答** その認識を持って課題解決に当たってきたい。
- 問**（後藤伸太郎議員）財務上は赤字額が減少しているが、人口減少と財政規模が縮小している中で今の状況をどのように認識しているか。
- 答** 人口減と復興事業の終了後のまちづくりは、しっかりとした方針がないと持続できない。将来へのツケを残さずに復興事業を進めることが重要。
- 問**（菅原辰雄議員）決算の内容について努力したと思うが、どう思うか。
- 答** 事業が一定程度進めることが出来たと考えている。
- 問**（小野寺久幸議員）子どもの医療費や保育料等の支援策については評価されているが、小児科や産婦人科等の町だけでは解決が難しい問題があることは認識している。
- 答** 2年が節目となる。



# 予算はどう使われたのか 決算審査特別委員会

## 歳入

### 町税

**問** (佐藤宣明委員) 収入未済額が前年度比で40%減となっているがその要因は。

**答** 電話による納税相談や滞納管理システムによる効率的な徴収対策を行っている。

**問** 法人町民税が伸びているが、震災復興事業によるところが大きいのか。

**答** 業種別では建設業が大きく、次いで製造業、卸売業の順である。

**問** (及川幸子委員) 入湯税の使い道をどのように考えているか。

**答** 観光振興に役立てる目的税として、観光振興基金に積み立てている。

### 地方交付税

**問** (佐藤宣明委員) 復興・創生期間終了後の震災復興特別交付税の見通しは。

**答** 明確になっていないが、廃止の方向となると思われる。

**問** 人口減少に対する激変緩和措置が行われているものの、年々減少傾向にあるが。

**答** 将来を見越した財政計画をしっかりと考えていく。

### 使用料及び手数料

**問** (後藤伸太郎委員) 住民票や印鑑証明などのコンビニ交付はどのくらい



子育て支援の拡大

利用されているのか。  
**答** 住民票34件、印鑑証明19件、税務の証明10件の合計63件の利用があった。

### 雑入

**問** (小野寺久幸委員) 東京電力損害賠償金の対象は。

**答** 上水の水質検査、汚染牧草の保管、焼却灰の一時保管と放射能測定に係る経費である。

## 歳出

### 予算管理は適切か (総務費)

**問** (佐藤宣明委員) 単一予算主義の原則に則り、四半期ごとに執行状況に照らし合わせて補正していけば、執行率は改善すると思うか。

**答** 復興事業の性格上、大きな不用額が生じていることから、それぞれの部署でその都度整理し、適切に対応していく。

**問** 決算は黒字であるものの、事業が完了できずに不用額が多く出ている現状をどのように考えているのか。

**答** 事業を実施するために必要な経費をしっかりと積み上げて正確に予算を計上するよう鋭意努力していく。

### 地域の活力向上を目指す (総務費)

**問** (及川幸子委員) 地方創生推進費の地域おこし協力隊と、地域資源ブランド化推進事業委託料の内容は。

**答** 地域おこし協力隊として昨年度より2名が都市部から住民票を移して活動しており、これをきっかけに南三陸への移住と起業を目指してもらいたいと考える。また南三陸町ブランドとして、ASC認証の力キやFSC認証の木材等の地域資源を活用した、1次産業に従事する方々が潤うような仕組みづくりを目指している。

**問** (小野寺久幸委員) 地域おこし協力隊員が定住できるようなフォロー体制は。

**答** 期間が3年という制度なので、期間終了後は町として創業に対する支援を行い、産業として一人立ちできるようにフォローしていく。

### ローしていく。(山内孝樹委員) 空き家再生から繋げる移住・定住者の基礎作りプロジェクトの概要は。

**答** 空き家バンクを立ち上げて情報を提供したり、住めるようにするための活動に対する補助である。

### 子育て世帯への支援策の拡大を (民生費)

**問** (後藤伸太郎委員) 子育て応援券制度の今後の継続性と、実際の使用状況は。

**答** 昨年度は436万円の実績があり、当面は制度が維持できると考えている。使用用途についての分析は行っていないが、考慮した上で制度設計に役立てていきたい。

**問** 外部から子育て世代や若い世代を呼び込むためには、応援券の金額を上げるといった制度の拡充を考えるとどうか。

**答** 財政との協議も踏まえながら検討していく。

## 特別会計

### リサイクル推進への取り組みは (衛生費)

**問** (及川幸子委員) ごみ処理に関する経費の削減について、防集団地でのリサイクル推進活動などを進めていく考えはないか。

**答** バイオマス産業都市構想における生ごみの分別等、地区に向いて説明していく。

### 有効な有害鳥獣対策は (農林水産費)

**問** (今野雄紀委員) 有害鳥獣対策の電気策の効果は出ているのか。

**答** 電気柵の設置に対して3件の補助を行なったが、一時的な効果に留まっているようだ。農家からの被害報告があった際には、実施隊が「くくりわな」を設置している。

**問** (三浦清人委員) わなの数や実施隊員の数も少ないことから、GPS等の機器をより活用してい

**問** (村岡賢一委員) 災害

公営住宅の公募の状況は45戸について一般の方を対象とした入居募集を行い、広報紙と町のホームページ及びフェイスブックの3つの媒体を用いて広報を行なった。抽選の結果36世帯が入居している。

### 続く労働力不足 (商工費)

**問** (佐藤宣明委員) 現在の雇用情勢は。

**答** 震災以降人手不足の状況が続いている。高校卒業後に地元へ就職するケースが減少していることに加え、労働人口の減少により有効求人倍率が高いにもかかわらず就職が進まなくなっている。

**問** 宮城県の最低賃金が上がったが、南三陸町の賃金体系の実態はどうか。

**答** 平均すると自給800円程度と県の最低賃金を上回っているが、労働者の確保に至らないケースもある。

### 災害公営住宅の一般開放 (土木費)

**問** (及川幸子委員) スクールソーシャルワーカーの現状は。

**答** 2名在籍しており、志津川中学校を中心に活動するチーフ級の方と他の学校を担当する方で、

今年度も引き続き活動している。

**問** どのような問題に対処しているのか。

**答** 不登校や家庭の中で問題、心身の健康や発達障害に関する相談があった。色々な関係者を交えて活動している。

### 福祉環境さらに充実へ (災害復旧費・復興費)

**問** (三浦清人委員) 整備中の福祉モジュールは、当初の計画から変更されているが進捗状況は。

**答** 9月7日に着工し来年4月の開業を目指している。事業規模は当初の計画より半減し、それに伴い借入金も圧縮されている。事業費の3分の2を復興交付金等の町からの助成で賄い、残りが事業者で負担する。

### 小中学生の心身のケアを (教育費)

**問** (及川幸子委員) スクールソーシャルワーカーの現状は。

**答** 2名在籍しており、志津川中学校を中心に活動するチーフ級の方と他の学校を担当する方で、



魚市場の今後は

### 今後の保険税の動向は (国保)

**問** (佐藤宣明委員) 被保険者数が減少している理由は。

**答** 後期高齢者医療保険への異動や社会保険への加入が増えることによるもの。

**問** 来年4月から国保の運営が宮城県に移行されるが、保険税の動向は。

**答** 今後の運営内容について見直しは。

**問** 県漁連と意見交換を行っている、様々な意見を頂いている。今後も漁協などと連携を密にしていきたい。

### 魚市場のこれから (市場事業)

**問** (高橋兼次委員) 魚市場の今後の運営内容について見直しは。

**答** 震災以降税率は据え置いているので、上がる事が予想されるが、激変緩和措置等によりできるだけ抑えていきたい。



# 生涯学習センター・松原公園整備に着手

28億2000万円を追加し  
35億1億7000万円とする

前年度比26億円の減額となり、震災復興分が259億100万円、通常分が92億7000万円。

## 一般会計

**問** (及川幸子議員) 生涯学習センター建設に係る町の単費持出しは、町の手出しは一割以内と考えている。

**答** モアイ像移設工事の内容は、新しくいただいたものはさんさん商店街へ、今高校にある古いものはサンオーレそではまへ移設する計画である。

**問** (今野雄紀議員) 松原グラウンドの完成時期は、

**答** 水道施設工事との関係で遅れていたが、30年度末を目指して工事を進めていく。

**問** グラウンド・ゴルフもできるような計画はないか。

**答** 陸上競技場のトラツクの中に野芝で整備したいと考えている。

**問** (山内昇一議員) 防火水槽、消火栓の整備状況は、

**答** 今回、天王山・天王前・南町・大森町の4地区に設置する。今後も消防水利の基準に従って整備をしていく。

**問** (小野寺久幸議員) 北朝鮮のミサイル問題で、防災の面から事前の情報提供を国に申し入れるべきでは、

**答** その情報は大切だと思いが、危機管理課で国

**問** 申し入れることは考えていない。

**問** (佐藤宣明議員) 町民税の課税に誤りがあったが、中には相当額を追徴される方もあると思う。迅速に対応すべきではないか。

**答** 重大な誤りであり大変申し訳なく思っている。丁寧にご説明申し上げ、ご理解を頂いていく。

**問** (三浦清人議員) 誤賦課について職員の理解不足が原因というが、部下に対する助言や指導は、

**答** コミュニケーションを取りながら案件の難易度に合わせ、時間をかけ指導している。

## 特別会計

**国民健康保険**

●制度改正で県単位化に伴うシステム改修など1億143万円の増額

**問** (佐藤宣明議員) 県が管理することになった場合の保険料案の検討状況は、

**答** 来年三月を目標に県の運営審議会が審議中。

**問** (及川幸子議員) 特定検診の実績は、

**答** 28年度は27年度より4%上回っている。今後も生活習慣病を中心に取り組む考えである。

## 介護保険

●制度改正に伴うシステム改修費といきいき百歳体操の実施団体増などによる1億3166万円の増額

**問** (及川幸子議員) いきいき百歳体操7団体とあるが1団体何人で、講師料は、

**答** 10名から20名ぐらいの団体で、講師派遣料は1回あたり2万5000円である。

## 案議 議審

○消防団の定数を630人から500人に40戸で11名を基準に440人、幹部30人、女性消防団15人、ラッパ隊15人の定数。

**問** (及川幸子議員) 女性の配属は、

**答** まだ決めていない。

**問** 町職員の消防団への参加は、

**答** 役場職員は災害時に対応に向くので、班の中で活動はいろいろな障害がある。

○URへ委託の志津川地区土地区画整理事業へ17億4000万円を追加し、合計74億円へ

**問** (小野寺久幸議員) 中央団地で問題のあったURへの再発防止策のチェックは十分か。

**答** 品質管理の職員を配置、月1回現場の安全講習会など取り組んでいる。

算面を考慮し減額。本来は貸し付けできない行政財産を一步踏み込んで貸し付ける。

**問** (今野雄紀議員) コアラ館がなくなるので、ミニ図書館機能をつけては、

**答** 中央団地に生涯学習センターと図書館ができるので、使い分けていく。

## 水道事業

●災害復旧に係る工事請負費など6億360万円の増額

**問** (及川幸子議員) 石泉配水管の詳細は、

**答** 石泉線から本吉方面に250mの配水管新設計画。

## 議会のうごき



議会(行政財政改革に関する特別委員会)の調査活動(登米市) 平成29年8月22日、登米市役所において登米市議会におけるタブレット端末導入までの過程と議会運営の現状などについて調査しました。

追及!

# 町民税等に誤り

～全員協議会～

9月13日に町税等の誤賦課について全員協議会が開催され、当局より固定資産税・町民税等の算定ミスの説明を受け、各議員より質疑がありました。

責任について、佐藤町長は本会議の中で自身の報酬カットについて言及しました。

## 固定資産税の課税ミス

平成25年度からの4年間に、震災による2つの特例の適用を受けた25社のうち19社で行政職員の理解不足により事務処理に誤りが発生。固定資産税の還付、追徴が54件生じた。

### 固定資産税の課税ミス内訳（19社のうち追徴8社、還付11社）

	還付件数	追徴件数	還付金額	追徴金額
復興特区特例	19件	14件	7,085,400円	1,941,500円
共同利用特例	16件	5件	1,319,600円	216,900円
合計	35件	19件	8,405,000円	2,158,400円
	54件		10,563,400円	

## 個人町民税の課税ミス

震災で被災した家屋等の「雑損控除」（住居などへの損害額を所得から差し引くもの）の計算方法に誤りが発生。現時点までに判明した影響のある人数は約500人に上り、追徴が約200件1450万円、還付が約400件3620万円。

## 質疑

**問**（後藤伸太郎議員）固定資産税の誤賦課の原因は。

**答** 実績報告書の確認を失念してしまったことが原因である。報告書は後から提出してもらった。

**問**（及川幸子議員）実績報告書がなくて何をもって評価基準としたのか。

**答** 計画書で評価したまま課税した。

**問**（佐藤宣明議員）町民税の賦課誤りによる今後の対応をどのように考えているのか。

**答** 町民税については500名程の再計算をして、10月末までに解決したい。

**問** 住宅使用料にまで影響があると思うが、特別な体制を組む必要があるのではないか。

**答** 所得を基にした各種制度がかなりの数に上るのでその洗出しを徹底して進めている。その対応に必要な業務量の把握に努めている。

**問**（高橋兼次議員）住宅使用料問題が発覚し、事務事業総点検をした結果、町税問題が発覚した。膿は全部出たのか。

**答** 震災以来大変な状態の中仕事をしてきたが、不祥事が生じた。総点検が必要と思いい例の通達を出した。ミスをすぐ訂正できるように点検をしながら仕事をするのは当たり前なので、複数年に渡るミスがあったことは深く反省したい。

## 町営住宅使用料等調査特別委員会

# 未請求問題全体像見える

9月13日特別委員会が開催され、これまでの経緯・経過の確認、原因と対応策の再点検と使用料の算定に関する考え方を質しました。

建設課から前回の委員会(広報No.46参照)で報告された問題点について、一定程度の結論が出たとして、その後の調査に基づく詳しい内容と対応、原因、再発防止策等が報告されました。

## ・未請求額（平成27年度から平成29年度分）

家賃(65世帯)が505万8,200円  
駐車場(46世帯)が47万6,800円  
未請求分の納期限は平成30年3月31日

## ・家賃月額変更通知世帯500世帯

利便性係数変更による過誤納還付金(433世帯) 2,270万円  
還付加算額132万円

## 質疑

**問**（後藤伸太郎委員）なぜ、特別委員会を開く前に、一定程度の対応が行われたのか。

**答** 解決の糸口を早く見つけて、入居者の皆さんに安心していただきたいということと対応を先行させていた。また、必要工程を組んでいなかった、調整を適正に行わなかったなどを挙げているが、原因とは言えないのでは。

**問** 主な原因として、必要な工程を組んでいなかった、調整を適正に行わなかったなどを挙げているが、原因とは言えないのでは。

**答** これまで携わった人が退職したり、あるいは震災により書類や担当者など蓄積した知見が全て失われた状態で、手探りでやっていたということ、1つの原因で、それに対するフォローが不足していた。

**問** 追完※の作業によって入居者の負担が増えているのか。

**答** 契約の正当性が議論

になると思うが、事前にも何度も入居者にはご説明をしているので、契約に関する双方合意ができていないことが言えるというところである。改めて書類を出したりということはない。

**問** 再発防止策として事務処理の適正化強化期間を設けたり、事務処理の監査部局を別に設けるなどの対応が必要では。

**答** 今回の報告は建設課としての考え方を示しており、こういう別組織をつくって監視していただくという立場にはない。

**問**（佐藤宣明委員）個別に入居者に家賃の計算方法の説明を丁寧にするべきでは。

**答** 個別に面談をすることで、なぜこういう状態になったかという質問はあるので、できる限り対応していきたい。

**問**（三浦清人委員）町長

の政治責任は。また、ほかの職員の責任は。  
**答** 職員の分限懲戒審査会も開催したが、まだ結論にまで至っていないので、報告が一定程度出た時点で、私のほうも考えさせていただきたい。

※追完（つかん）：必要な要件を備えていないために効力を生じない法律上の行為が、のちに欠けている要件を備えて効力を生じること。



### 職員配置

#### 職員体制と新規採用計画は

町長 32年度に派遣職員ゼロ、33年度にプロパー195人を目標



三浦 清人 議員

**問** 各課毎に役職がバランスよく配置されているか。

**答** (総務課長) 人事において最も重要なところ。効率よく住民サービスができるよう配慮し最大限心がけて配置。

**問** 人がいないからできない。設備やものがないからできない。予算がないからできない。時間がないからできない。どうすればできるのか、知恵を出すのが職員の最大の使命では。

**答** 町民は不満や困り事で役場に来る。耳を貸すのが大事。職員はこの議会放送を聞いていると思う。やれる理由を考えてみるという姿勢を思い起こしてもらいたい。職員数の増加は抑制しながら適正な数の新規採用を行う。

**問** 町は、町長のためにあるのではない。議員のためでも職員のためでもない。町民のためであり、福祉向上が一番の目的である。

# ここが聞きたい

9月定例議会では、8人の議員が19項目について一般質問を行い、各分野のさらなる復興について議論が展開されました。

## 一般質問

### 二つの商店街をより訪れやすく

#### 賑わい形成

#### 町長 まちづくり会社と連携し、さらなる集客に努める

**問** さんさん、ハマレ両商店街が本設オープンし半年になるが、使いづらいつころはないか。

**答** 駐車場不足、入り口看板の見づらさ、トイレの場所の分かりづらさなど、使いづらいつ点があることは認識している。

**問** 対応策は。

**答** 運営主体である「まちづくり未来」と協議し、利用者目線に立って改善していく。国道からの入り口は、国道工事の完了後に整備する。

**問** さんさん商店街の駐

車場は、駐車台数の確保や安全対策が今すぐ必要だと思うが。

**答** まだ宅盤の整備中であり、仮設の駐車場をその都度作りながらの対応になる。事故があれば町の責任でもあるので、引き続き努力する。

**問** 警察と協議し、商店街側の要望を伝えては。

**答** これまでも繰り返し協議してきたが、安全が第一という警察の決定には従わざるを得ない。

**問** 商店街周辺の整備スケジュールは。

**答** ハマレ周辺は用地買収が残っており、完成時期を示せない。

**問** さんさん商店街周辺は、国道398号が今年の11月、45号は年度末に水尻川から八幡川までが開通



人の流れを生み出せるか



町民のために

**問** 商店街から町内各地域への人の流れを生み出す取り組みは十分か。

**答** 将来的に、観光やまちづくりは「面」で考えていく必要があるが、現状はまだ「点」である。工夫して情報発信していく。

### BRT

#### 気仙沼線の利便性向上を

#### 町長 路線堅持のため、利用効率の向上に努める

**問** BRTの運行経路の最終的な形は示されているか。

**答** 平成30年4月、志津川中央団地に新駅ができると予定。本設の志津川駅は、隣接する道の駅の整備に合わせ、平成32年度末に完成予定。清水浜、歌津の駅の整備には時間がかかる見通し。

**問** 経路は、陸前戸倉く志津川くベイサイドアリーナく志津川中央く清水浜く歌津、となる予定。

**問** ベイサイドアリーナ駅が病院前に移設されたが、安全性は。

**答** 病院を利用する一般車両と動線が交錯するが、安全面には十分配慮している。また、駅の名称は新年度のダイヤ改正に合わせて、変更することが検討されている。

**問** BRTは、専用道の整備がまだ不十分で、安全性や定時制の確保が万全でないところが課題である。専用道の整備をさ

**問** らに進めるべきと思うが、現在の41%が専用道だが、最終的には全体の9割以上を専用道化すると聞く。JRに工事の加速化を働きかけていく。

**問** 今あるBRTの駅の利便性向上を、もっと働きかけるべきでは。

**答** 窓口の開設時間等、これからの必要に応じて協議していく。



利便性向上を

### 公務員倫理

#### 災害公営住宅の未請求の件について 町長 公務員としての規律と倫理を向上させる

**問** 検証と再発防止策は。

**答** まさしくお話し通り、不適正な事務処理は、経験、知識の少ない町民に多大な迷惑をかけた。職員を張り付かせたのが町民の信用を大きく失墜させた。改めてお詫びを申し上げる。今後は事務

**問** 政治家であれば町長として責任を取るべきで処理に係るチェック体制の強化や法令遵守の意識啓発、公務員としての職務規律及び公務員倫理の確保を徹底する。

**問** 習熟度、認識不足の職員を配置したのは任命権者の町長。ごめんなさいで済む事案ではない。

**問** 政治家として自分自身、一定のけじめをつけるのは当然。報酬カットということを考えなければならぬ事案だと思う。



公務員倫理の向上を



復興事業

復興期間内での総仕上げは可能か

町長 全力を傾注して取り組む



高橋 兼次 議員

問 期間内の整備完了は困難と思われるが、各種事業の進捗状況は。
答 国の制度上の制約もあるなど防潮堤をはじめとする漁港整備の事業は、指摘のとおり遅れていることは認識している。

金の取り扱いについては明確でなくその時にならないとわからないが、一旦清算する方向だと思われる。
問 復興期間内完了に向け、職員配置は十分か。
答 (総務課長) 派遣職員の状態は縮小傾向ながらも必要な技術を持った職員の確保に今後も努力していく。

問 防集団地の空き区画処分についての考え方は。
答 空き区画については9月中旬に一般開放に向けた手続きの準備をしている。
問 増加する町有財産管理に専門的な管理職員が必要と思われるが。
答 高齢化が進む中、これまでのような管理が困難と思われるので検討していく。

問 新たなコミュニティの形を踏まえ、地理的特性に照らした区域の範囲や、行政区長が受け持つ構成世帯数も考慮し検討を重ね必要な対応に当たっている。
問 地域コミュニティ醸成への取り組み状況は。
答 町全体が一つの地域コミュニティとなるよう一体感を目指している。また、関係各分野が連携してコミュニティの主体である住民に支援していく考えである。

問 32年度までに完了できない場合、財源等を含めた事業内容はどう変わる。
答 復興庁からは、基本的に32年度完了を目指せとの指示である。
答 (企画課長) 復興交付



期限が迫る復興期間

問 単身高齢入居者への対応は。
答 (保健福祉課長) 支援員の訪問等、見守り体制を今後も継続し支援を強化していく。
問 水産業の更なる振興策は。
答 ASC認証水産物や市場に揚がる水産物の付加価値を高め、南三陸ブ

問 水産物の輸出が止まっているが町の考えは。
答 大変悩ましいのはホヤの問題であり、町村会も県に対し最重要要望として出しているが、非常に難しく今後も粘り強く対応していく。
問 東電の補償対応が難しくなっていると聞くと、

問 我が町の魚市場運営が将来的に心配される声も聞くと、運営見直しの考えは。
答 関係者との意見交換等を検討しなければと考えている。



水産振興に向けた連携を

町有地活用

旧入谷中学校跡地の再利用策は

町長 町の公共施設であり有効活用策を示す

問 (株)シルク総合開発が事業停止で、地元若者が全員退職した。入谷伝統産業シルクを受け継ぎ、期待感もあった。また、跡地は公有地で、当該企業から譲渡されたと聞くと問題なく処理できたのか。
答 寄附された普通財産で法的問題はない。
問 跡地は入谷八幡神社の近くで利便性が高い。今後の利用計画は。
答 地域の産業振興への利用を検討している。

問 施設をそのまま活かせる企業の公募は無いのか。
答 貸付できるよう今後は公募する。
問 空き期間中、祭事の降雨時の避難所としては。
答 秋の例大祭の天候状況次第では、一時避難所としての利用が可能。
問 校庭の利用ができれば入谷地区高齢者の運動場として活用できるが。
答 地域の要望があればグラウンド・ゴルフ、ゲートボールの利用も検討する。

問 創設時の意義であり、1階が農機具類の陳列、2階で打囃活動ができるが展示は検討していない。
問 町は復興途上であり、町有地の管理で遊休施設を出さずに取り組むことが重要となると思うが。
答 公共施設であり今後有効利用促進を図る。

問 復興時の意義であり、1階が農機具類の陳列、2階で打囃活動ができるが展示は検討していない。
問 町は復興途上であり、町有地の管理で遊休施設を出さずに取り組むことが重要となると思うが。
答 公共施設であり今後有効利用促進を図る。

問 観光振興の一環でつじ祭りやハマーレ歌津との連携や、シロウオ祭りと一緒に山の神社の祭りも組み合わせることが出来れば大変盛り上がるのでは。
答 今までも山と海の祭りの展開でイベントを実施してきた。
問 シャトルバスの運行と山ガイドや、語り部などのボランティア養成を更にすべきでは。



観光対策の推進は

観光振興

田束山の観光振興策と整備保全是

町長 地域連携で観光資源の活用、保全に取り組む

問 復興国立公園に編入された霊山について、更に観光対策や環境の整備を推進すべきでは。
答 「みちのく潮風トレイル」で田束山が北側入口と決まった。水洗トイレの改善や観光看板の設置を進め、つじ保存会と連携して保全を進める。

問 看板設置はインバウンドのこともあり多国語での整備をしては。
答 町として順次進める。

問 シャトルバスは現在イベント開催時の土日等に限定して運行している。また消防団も警備等で出動している。
問 山形の庄内町と友好町としてシンボルに風車設置の声もあるが。
答 震災前に調査を実施したが、生態系の問題などが厳しく、人工物は好ましくないと聞く。



山内 昇一 議員

問 伝承館はあるが、伝統芸能の常時展示場として県無形文化財指定である入谷打囃を観光客が見学できる施設化を望む声もあるが。



跡地利用を

問 伝承館はあるが、伝統芸能の常時展示場として県無形文化財指定である入谷打囃を観光客が見学できる施設化を望む声もあるが。

問 シャトルバスの運行と山ガイドや、語り部などのボランティア養成を更にすべきでは。

問 シャトルバスは現在イベント開催時の土日等に限定して運行している。また消防団も警備等で出動している。
問 山形の庄内町と友好町としてシンボルに風車設置の声もあるが。
答 震災前に調査を実施したが、生態系の問題などが厳しく、人工物は好ましくないと聞く。



### エコタウン

#### 木質ペレット事業の現状は

町長 ペレット事業は伸び悩んでいる



菅原 辰雄 議員

業農家も多く、農林に特化した政策は難しい。

循環型エネルギーとして木質ペレット事業を取り入れたが現状は、エコタウンへの挑戦としてペレット事業を取り入れ、間伐材などの活用、ペレット工場建設も考えたが、採算ベースは年間使用量800〜1000トンで事業は伸び悩んでいる。

ペレットストーブの設置台数とペレットの使用量は、ストーブ購入に補助金制度を導入したが伸びなかった。公共施設を含め63台で、ポイラーは役場を含め3台。昨年度は200トンだが役場が使用を始めれば加算される。

全国的な問題で大きく取り上げられている。震災での浸水や風評被害を受け、以前の安定した農業経営となるよう各種事業を活用して農業振興を図っている。

国の制度活用と合わせ、町独自の政策も必要では。

水産を基幹とする兼

三陸海岸インターチェンジから登米の方向に避難をすることになっているが、複合災害による道路の不通等については、県へ対応をお願いしている。防災に絶対はないので、継続して訓練等を実施し、計画の検証、見直しを図り、実効性向上を図っていききたい。

これまで町長は、原発再稼働について、国のエネルギー政策の問題として主体的な考えを示していないが、安全協定に再稼働に関してUPZ自治体の拒否権を盛り込む必要はないと考えるか。

原発への依存度が低下すればいいと思うが、電気の安定供給、安全性担保等さまざまな要因があると思う。協定の問題

災害公営住宅の個人の部屋に設置可能か。

煙突用の穴は無く、開けるのはかなり難しい。

### 教育環境

いじめ、教師の体罰や言動が各地で問題だが当町では

教育長 教師による行きすぎた指導があった

各地でいじめが大きな問題になってきているが当町では。

学校から深刻ないじめ報告はないが、この学校、クラスでも起きるものであるのでアンケート調査など早期発見に努める。

教師による体罰や言動による問題は、学校で行きすぎた指導があった。

どのような対策を講じたのか。

体罰の無い指導の徹底に向け、方法や体罰に関する理解を深めるなど資質向上を図る。

不登校の子どもがいるが、いじめに関係しているのか。

不登校の子どもは復数人いる。原因は多数あり難しい。いじめによる不登校は無い。

校庭が雑草に覆われているのが全てを学校に委ねるのか。

以前は子どもたち、PTAも多く対応できた



伸び悩むペレット事業

### 公共交通

町民バスの運行について

町民バスを利用したいのに利用できない人もいる。町の現状認識と対応策は。

公共交通研究会での意見交換やコンサルタント会社の調査などで問題を抽出している。バス停

まで遠い場合は調査をし、フリー乗車区間の設置やルートの見直しをする。

運転免許証の自主返納者に優遇措置を考えては。何らかの制度を考えたい。



住民の足の確保を

が今は難しい。法面などは業者に委託対応している。

### 原発再稼働

#### 原発依存で住民の安全は守れるか

町長 エネルギーの在り方は国の責任で

女川原発の安全対策は、十分と考えるか。

新規制基準にのっとった安全性は確保されるものと考えているが、絶対的な安全性が確保できるものではない。再稼働については多くの住民の不安を考慮して、県及びUPZ自治体と協力し、さらなる安全の確保を求めていきたい。

避難計画は有効か。

また、避難訓練は十分か。



小野寺 久幸 議員

車で退域検査ポイント(役場第二庁舎)まで避難をして検査を受け、南

三陸海岸インターチェンジから登米の方向に避難をすることになっているが、複合災害による道路の不通等については、県へ対応をお願いしている。防災に絶対はないので、継続して訓練等を実施し、計画の検証、見直しを図り、実効性向上を図っていききたい。

これまで町長は、原発再稼働について、国のエネルギー政策の問題として主体的な考えを示していないが、安全協定に再稼働に関してUPZ自治体の拒否権を盛り込む必要はないと考えるか。

原発への依存度が低下すればいいと思うが、電気の安定供給、安全性担保等さまざまな要因があると思う。協定の問題

### 鉄道復活

交通権の保障をするため鉄道復活を

町長 BRTを基幹軸として機能するような安定経営に貢献していきたい

被災した鉄道の支援を行える法律が用意されているということだが。

その路線の運営で3年間赤字要件とある。JRに半分行き、被災自治体が4分の1負担ということになるので、気仙沼市と南三陸町で175億円

の負担ということになる。

負担が大きいのではないか。

理というのだが、使えるような制度にしてもらうための働きかけが必要

### 給食費無償化

検討状況は

町長 来年度から段階的に実施したい

給食費の無償化について、検討状況は。

大きな障壁は、財政負担で、さまざまな角度から調査・検討を指示している。

具体的な検討状況は、段階的という方向で最終調整に入っている。完全無償化はできない。

校庭が雑草に覆われているのが全てを学校に委ねるのか。

以前は子どもたち、PTAも多く対応できた

町民バスを利用したいのに利用できない人もいる。町の現状認識と対応策は。

公共交通研究会での意見交換やコンサルタント会社の調査などで問題を抽出している。バス停

まで遠い場合は調査をし、フリー乗車区間の設置やルートの見直しをする。

運転免許証の自主返納者に優遇措置を考えては。何らかの制度を考えたい。

内陸部に駅をつくっても、それだけの利用があるかという問題もある。また、完成まで20〜30年かかり、廃線という問題が現実のものとして出てくると思う。

税金を使ってでも地方の公共交通網は利便性の高いものを確保すべきで、国が責任を持つべきと思うが。

今ここで国にという考え方はない。

今ここで国にという考え方はない。



交通環境

町民バスの見直しを考えよ

町長 9月4日にダイヤ改正した



及川 幸子 議員

の印刷も含めて委託している。

直接病院とウジエ・高校と回れば、乗継がな

く時短になるのでないか。運行会社とKCSとで調整しており、9月にダイヤ改正した。

免許の無い人が利用するので十分な利便性の確保と料金の見直しが必要では。

運行会社は委託料だ



町民の利便性を重視せよ

けではなく運賃収益も見込んでいるので難しい。

道の駅整備

ハマーレ商店街に道の駅を考えよ

町長 町内に二つは要らない

歌津商店街を観光と結びますが、仮設跡地の利用方法は。

昨年まちづくり協議会と議論したが、広場と駐車場を整備する。

うちちゃん橋を活かした活用を考えては。

残して欲しい声が少ないので、撤去工事を実施する。

町に何度も話したが

「管理はそちらでやるように」と言われ、ガツカリしていた。震災遺構に繋がる大事なことである。夏祭りには賑わったものの、それがいつまで続くのか危惧されているが。

オープンからハマーレには18万人以上の集客があった。景観も功を奏し賑わっている。18万の数字は驚きの出足と思う。私の見方は町長と違う。設置予定の体験交流



賑わいが続くためには

館の中身は。補助で、交流室の面積は60㎡程である。

ツッポケなものではなく、地図に載るような一体型で整備出来ないか。

物販施設の整備を切望している町民がいることを考えて欲しい。今回の交流施設は物販するところではなく、商店街と一体となり賑わいを創り出す場である。

未収問題

公営住宅使用料未収問題の進展状況は

町長 9月から通常の徴収業務

いつごろ通常の徴収業務になるのか。

9月から始まっている。

家賃、駐車場代、算定過誤の分は。

年内を目途に解決をはかる。

特別委員会で調査中の案件ですので、これ以上の質問は控えます。

子育て環境

赤ちゃんの難聴検査の実施を望む

町長 30年度から導入に向け検討中

難聴障害者の多くは早期発見が大事。町として取り組む考えは。

生後3日以内の新生児聴覚検査を実施すること

とが重要で、30年度から導入に向けて進めている。助成額は、5000円を上限としたい。

改良復旧事業

「多自然川づくり」の推進を

町長 早期復旧に重きを置いた

改良復旧事業としてふ化場の完成した八幡川、水尻川を、多自然川づくりで取り組み、遡上環境の確保や限さんのグラウンドデザインでもあった親水性の確保にも、効果的

だったのではないかと。サケの遡上には、いろいろな要因がある。八幡川は、県の了解を得て、下まで歩いて行けるつくりにした。



川に親しむ空間を

逆走防止

小森インターの逆走防止策を

町長 維持出張所へ引き続き要望する

小森インターは、入谷方面からの上り口が、わかりづらいのでは。

指摘のとおりだ。そこは警察にもお願いしたい。

側溝にフタがあると、最悪の事態を回避できるのではないか。

これも認識している。警察と道路維持管理事務所へ伝えており、引き続き確認する。



逆走を防ぐ手段を



今野 雄紀 議員



一日も早い安心を



# 議会へのお願い

## 請願書

請願6の1

### 県道泊崎半島線に関する請願書

#### 【請願要旨】

県道泊崎半島線を水産関連復興道路として整備するよう県に強く働きかけて頂く事を請願します。

請願者 県道泊崎半島線を考える協議会  
代表 中山契約会長

最知 隆ほか5名

紹介議員 三浦 清人 阿部 建  
高橋 兼次 及川 幸子

この請願は採択されました。

## 民生教育常任委員会に付託されていた請願・陳情の審査報告

受理番号	付託年月日	件名	委員会の審査結果	採決結果
請願5の1	平成29年6月19日	宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書採択についての請願	採択すべきもの	この請願は採択されました
陳情5の2	平成29年6月19日	就学援助の拡充と運用の見直しを求める陳情書	採択すべきもの	この陳情は採択されました

## 議員提出議案

### 発議第4号 宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書の提出について

- 宮城県は、事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること。
- 平成30年度以降も、現在以上に保険料を上げないこと。
- 今後は財政的責任の主体となる宮城県において、県民への影響を勘案し、一般会計からの法定外繰り入れ、保険料決定など、市町村における独自権限を侵害しないこと。
- 準備が整わないまま拙速な実施はせず、場合によっては延期も検討すること。
- 国に対し、負担感が強い保険料(税)の是正、国民健康保険の安定的な運営のため、十分な財源措置を検討するよう求めること。

意見書送付先 宮城県知事

### 発議第5号 「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割等の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

意見書送付先 内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・農林水産大臣・環境大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長

上記2件の発議は可決され、意見書を提出しました。

## 9月定例議会提出 議案一覧 42件

(条例改正・廃止7件、財産取得・貸付3件、工事関係11件、補正予算7件、決算認定及び報告12件、議員提出議案2件)

議案第75号 新志津川保育所の位置と定員を設定。定員は120人から90人に。	議案第94号 平成29年度一般会計補正予算(第2号)→P6
議案第76号 上位法の改正により、介護保険条例の文言を整理。	議案第95号 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)→P6
議案第77号 登記完了に伴い、志津川3団地の住所を条例で規定。	議案第96号 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第78号 上位法の改正により、町営住宅条例を改正。入居者の収入申告義務を緩和。	議案第97号 平成29年度介護保険特別会計補正。→P7
議案第79号 消防団の再編成に合わせ、定員を改正。630人から500人に。→P7	議案第98号 平成29年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
議案第80号 特定教育・保育施設等に関して、支給認定証交付を任意に。	議案第99号 平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案第81号 企業誘致のための減税条例を廃止。これまでの対象事業者はなし。	議案第100号 平成29年度水道事業会計補正予算(第2号)→P7
議案第82号 「マチドマ」に設置するカフェへのスペース貸付料を1/4に減額。→P7	報告第7号 平成28年度決算の健全化判断比率を報告。いずれの数値も問題なし。
議案第83号 田ノ浦漁港船揚場復旧工事を1億3,200万円で阿部伊組と請負契約するもの。	報告第8号 平成28年度決算の資金不足比率の報告。いずれも資金不足の発生なし。
議案第84号 広畑橋復旧工事を7,000万円で遠藤組と請負契約するもの。	認定第1号 平成28年度一般会計決算→P2~P5
議案第85号 八幡川中橋付近の築堤護岸工事を6億9,000万円で升川建設と請負契約するもの。	認定第2号 平成28年度国民健康保険特別会計決算→P5
議案第86号 志津川建設と締結した志津川保育所建設工事を3億4,000万円から95万円増額するもの。	認定第3号 平成28年度後期高齢者医療特別会計決算→P5
議案第87号 サトー・阿部藤・沼正JVと締結した保呂毛橋復旧工事を3億9,700万円から4,200万円増額するもの。	認定第4号 平成28年度介護保険特別会計決算→P5
議案第88号 阿部藤・サトー・沼正JVと締結した竹川原橋復旧工事を5億8,600万円から4,800万円減額するもの。	認定第5号 平成28年度市場事業特別会計決算→P5
議案第89号 田名部・沼正JVと締結した竹下橋復旧工事を2億2,100万円から1,900万円増額するもの。	認定第6号 平成28年度漁業集落排水事業特別会計決算→P5
議案第90号 UR都市機構と締結した土地区画整理事業を57億2,100万円から17億4,000万円増額するもの。→P7	認定第7号 平成28年度公共下水道事業特別会計決算→P5
議案第91号 UR都市機構と締結した志津川西地区防災集団移転事業を36億5,300万円から2億9,100万円増額するもの。	認定第8号 平成28年度水道事業会計決算→P5
議案第92号 UR都市機構と締結した連絡道路整備事業を31億4,700万円から7億5,800万円増額するもの。また、工期を1年半延長し、平成31年3月に。	認定第9号 平成28年度病院事業会計決算→P5
議案第93号 学校給食センターの備品を中西製作所から800万円で購入。	認定第10号 平成28年度訪問看護ステーション事業会計決算→P5
	議案第101号 平磯線等の道路改良工事を1億3,000万円で遠藤組と請負契約するもの。
	議案第102号 消防ポンプ付積載車4台を古川ポンプ製作所から3,100万円で購入するもの。
	発議第4号 宮城県の国保運営方針に関する意見書を提出するもの。→P19
	発議第5号 「全国森林環境税」創設に関する意見書を提出するもの。→P19



総務  
常任委員会

「適切な施設管理を」

調査の結果

平成29年6月21日と8月10日、シルク総合開発へ貸し付けていた町有財産の現状と公共施設維持管理経費の見通しについて町建設課から聞き取り調査を行った。

公共施設等の維持管理については、公共施設等総合管理計画を策定しているものの、復旧・復興事業による施設整備が今後とも計画されていることや施設ごとの明確な補修・修繕計画、施設の廃止計画等が記載されていないこと、施設ごとの維持管理

費の一元管理がなされていないことなどから明確な維持管理経費が見えないため、より具体的な実施計画を策定して管理を行っていかねばならない。

人口減少に反比例する施設の増加は、財政逼迫への大きな要因であるため、施設の統廃合や複合化、民間譲渡など

積極的に進め、スリム化を図っていかねばならないのは明確だが、これまで財政事情を理由に公共施設の統廃合が進められてきており、住民にとって行政が遠い存在という感じが強くなっていることは否めない。中でも生徒数の減少などを理由に小中学校の統廃合が進められてきたことは、人口減少の悪循環の原因の一つと考えられており、PTA活動等の地域活力の低下なども懸念されることから、

子育て支援や教育施設については安易に統廃合を行うべきではなく、住民の意向を尊重し十分な説明・検討を行いながら進めるべきである。

今後、公共施設等総合管理計画において適正な施設管理を図るうえでは、上記の他、人口動向や財政状況、活用できる補助事業や制度を的確に把握するとともに計画に盛り込み、将来負担をできるだけ軽減するためにも、施設の利用状況等も勘案しながら積極

的な施設の用途転換も含めた統廃合・複合化・民間譲渡など柔軟な検討と対応が必要である。

産業建設  
常任委員会

「リーダーとなる人材育成」

調査の結果

平成29年8月21日、町の交流人口拡大への取り組みと課題及び民泊の受入状況と今後の見通しについて町商工観光課から聞き取り調査を行った。

大震災から6年が経過し、我が町の再建も最終段階を迎えている。観光産業も大きく姿を変えながら上昇傾向を辿っているが、その中で求められているのは、おもてなしを担う人材の養成である。これまでに「まちむら交流きこう」などで学んだ多

くの方々も高齢化が進んでおり、切れ目のない後継者育成は喫緊の課題であり、観光振興を前面に掲げる我が町が最も取り組んでいかねばならない事業である。

その中で特に求められるのは、チームリーダーの養成である。

チームをまとめ事業を伸ばしていける優れた人材を配することが、組織の強化と事業展開には欠かせないものであり、しっかりとした目に見える形にしていかなければならない。

震災後に大きな後退を余儀なくされた民泊事業も、現場の努力によって受け入れ家庭も以前の50%くらいまで持ち直してきてはいるものの、これからの展開を考えるとまだまだ増やしていく必要があり、町の広報紙

なども活用しながら広く呼び掛けていくことが求められる。

我が町の観光産業の発展のため、行政と観光協会そして民間

が協力し合い、組織の中でその役割をこれまで以上にしっかりと果たしていくことが望まれる。



民生教育  
常任委員会

「将来につけを回さない社会へ」

調査の結果

平成29年7月27日、ごみ処理の現状について環境対策課から聞き取り調査を行い、8月2日に今年度から焼却灰の最終処分を委託している秋田県小坂町のグリーンフィル小坂を現地調査した。

エコタウンへの挑戦を掲げ、バイオマス産業都市構想の採択を受けている当町において、住民の環境への関心は決して低くはない。自然との共存が重要であることは住民全体の共通理解であると言ってよい。しかし、環境基準に適合する規模の自前

焼却施設を持つことは、費用の面でも技術的な面でも極めて難しい。

現実的には、焼却処分と最終処分をほかの自治体をお願いする今の状況を継続していく必要があるだろう。企業城下町である秋田県小坂町の最終処分施設

は、環境への配慮、埋め立て容量の余力、地元での実績を考えたとしても優良な施設でありコストも安い。

しかしながら、当面の問題はクリアできても、将来的な課題の解決をみただけではなく、処分が可能な間に、ごみの減量化、発生抑制、再資源化の取り組みを前に進めなければならない。

そこで重要なのは、住民一人一人が当事者意識をもって、将来世代につけを回さないために

小さな取り組みを積み重ねていくことである。当町でも、徳島県上勝町のようにゼロ・ウェイスト宣言を検討すべきと考える。また、自分たちの生活から出たごみの処分を、別な地域の人たちに頼らざるを得ないという現状を、私たちはもっと広く認識し、深く考えなければならない。

そのために、小坂町との相互交流を深める取り組みを提案する。持続的発展が可能な社会の

構築には、成果の見える化が必須である。外との関係の中で、内の取り組みの意味を気付かせることは、住民の意識を変えていく一助になり得るものと考え

る。子や孫の代へと続く循環の一步目を踏み出している当町の環境行政が、住民目線で住民とともに歩み続けていくことを期待し、そのために必要と思われる取り組みの提案を加えて、結びとする。



# わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。

## 「住みやすい場所」



枳沢 熊谷 広平さん

震災から6年が経ち町の景観は日に日に変わっていく中、この町はこれからのどのようなようになっていくのか、楽しみでもあり不安でもあります。

先日、大阪から一年ぶりに上司がバイクで遊びに来た際に「三陸道が志津川まで来たんだね。とても楽しかったよ」と言っていました。私も

よく利用しているのですが改めて言われると復興が進んでいるのだなと実感しました。ですがまだ復興の途中、未だの南三陸町はどの様になっていくのか、私の意見としては子供達が笑顔で住める町になれば良いなと思います。子育て支援や遊び場の充実、子育て世代に住みやすい町になれば人口も増えたりするのかなと思ったりしています。さんさん商店街も出来て町

外から来られる方も多くなっていると思いますので、この賑わいを一過性のブームで終わらせない魅力的な町になっていけば良いなと期待しています。

**議会から**  
本町の子育て支援は、他市町より充実していますが、さらなる拡充が必要だと思います。「魅力的なまち」とは、皆がこのまちを好きになることだと思いますので、皆さんと一緒に取り組みたいです。

## 「この町が好きだから」



荒町 小林 岬太郎さん

私が南三陸町に転校して来てから十一年が経ち、多くの人々と出会いこの町で暮らしています。

六年前に東日本大震災によって町が壊滅したときは、不安でいっぱいの日々でしたが、今ではさんさん商店街やアツプルタウン、高台には家も建ち始め、復興が進んでいるの

を感じています。しかし、復興事業で失われたものもあると私は考えています。いつも高校の登下校中を通る川があります。そこは毎年鮭が産卵をしに戻ってきますが今では鮭を見ることはなくなってしまうと。橋を造るため川を埋め立て、多くの土を使い流れを遮っているのが原因なのかもしれせん。復興をしていく上ではしか

たのないことなのかもしれませんが、少しでも自然に及ぼす影響をいまままで以上に計算して欲しいと考えています。南三陸町は自然がとても綺麗だから。

**議会から**  
豊かな自然を取り戻すことは、皆さんが望んでいることですので、一日も早く復興が完遂できるよう取り組みます。

## 皆さん議会傍聴に来てください

次回の定例議会は 12月を予定しています。

- 日程等は議会事務局にお問い合わせください。 TEL (0226) 46-1375  
ホームページは「南三陸町議会」で検索できます。

## 編集後記

広報は紙面の都合があり、議会の全部を伝えることは難しく、編集に当たっては、「要点を分かりやすく」を基本にしているため、議場の雰囲気や十分に伝わらない部分もあり、委員一同苦心しているところです。

復興が進み新しい町の姿が見えてきました。が、内外にたくさん課題があり、住民に一番近い議会の役割は大きくなっています。庁舎が新しくなり、議会も町民の期待に応えるべく、改革に取り組んでいきます。

この広報が届くころには新しい体制ができていると思いますが、ぜひ議場にきて、自分が議場に立つことも考えてみてはいかがでしょうか。

小野寺久幸

議会広報に関する特別委員会

委員長 後藤伸太郎

副委員長 小野寺久幸

委員 今野 雄紀

村岡 賢一

及川 幸子

佐藤 正明